

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域生活応援センター やまさん (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年12月22日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (兄弟利用で17家族)	(回答者数) 15 (兄弟利用で14家族)
○従業者評価実施期間	2025年12月22日		～ 2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 設備の充実、バリアフリー 福祉機器の導入(天井走行リフト、スタンディングリフトなど) 営業時間(祝日や長期休暇等1日利用時8:00～18:00) 給食の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育時など、用途によって、パーテーションで仕切ること、集中できる環境作り 重心・医療ケア児と発達障害児とを大きく二つに分けているが、曜日やメンバーにより、グループ分けを調整することで、活動しやすい環境を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も発達障害児の中でも、発達段階に合わせて、小グループ化を図っていく。 1人ひとりにあった個別の目標(日常の些細な事でも)を設定し、取り組んでいく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 専門職配置(OT、看護師など) 入浴設備の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携を図ることができる。 医療的ケアの受入れ 週2回入浴支援の実施(重症心身障害児・医療的ケア児) 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種間で連携を図り、日々の意見交換の場を設ける。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 外出する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 重心、医ケア児の方々が外出する際に、看護職員の同乗が必要だったり、外出が難しい利用児もいるため、全員で外出することが難しい。また、車いすのため、マンツーマン対応で実施が必要であり、人員が足りない場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児全員が偏りなく外出できるように、年間計画を作成し、外出時は人員配置を多くし、マンツーマン対応できるようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 経験のある職員がいない。(長年、療育に携わっている) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に療育などについての勉強会(月2回)を開催し、日々の支援に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> さらなる資質向上のため、定期的に、職員間で療育に関する研修会や勉強会などを開催し、療育への理解を深める機会を設ける。 他事業所の見学など、学びの場を設ける。
3			